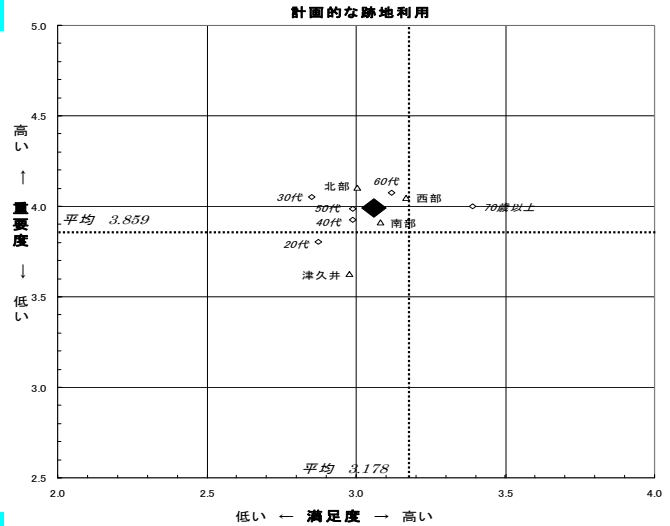


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.058で121施策の中で94番目。
 ○重要度は3.992で43番目である。
 ○改善要望度は0.1784で27番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、30代で最も低くなっている。重要度は60代で最も高く、20代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	4(2)1	キャンプ淵野辺留保地利用計画を作成中であり、平成25年度の処分にに向けた取り組みを進めている。
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4(2)1	4(2)1	
合計		4		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 B

*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	国に対し、留保地の利用計画を示すと共に、学識経験者や市民等による検討委員会を設置し、より具体的な整備計画を策定する必要がある。
解決策	検討委員会の設置や、整備計画の策定に向け、着実に取り組みを進める。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

施策の目的を明確化・具体化する必要がある ⇒新しい総合計画に反映する。	2次評価 B
--	-----------

*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 B
--	-----------

*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

単位:千円

事務事業 担当課	構成事務事業	H19決算見込 (事業費)	H20予算 (事業費)	H21見込額 (事業費)	事業効果 の高い 指標番号	前回の 優先順位	H17人員 (人)	H17決算額 (事業費)	H17合計 (人件費含む)
渉外課	基地対策事業(再掲)					再掲	3.50	17,519	45,694
土地利用調整 課	キャンプ淵野辺留保地利用 計画策定経費	36	48		1	再掲	3.00	37	24,187
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		36	48	0			6.50	17,556	69,881